

下町・両国を舞台にした音楽祭、両国アートフェスティバル（略して RAF）。  
第7回目は、芸術監督に作曲家・空間音響作家の宮木朝子を迎えて、  
「仮想郷土 -Echolalia, Topophilia-」と題して3つのプログラムを上演。  
マルチスピーカーによるイマーシブ環境の会場視聴と、VR映像と  
ヴァーチャルサラウンド音響によるオンデマンド視聴により体験いただけます。

盛夏の両国 - 音と光の仮想郷土に集う

第

7



ART FESTIVAL 2022



Echolalia Topophilia

Ryogoku Monten Hall presents Ryogoku Art Festival 2022 Director : Asako MIYAKI

第7回両国アートフェスティバル2022

仮想郷土 -Echolalia, Topophilia-

芸術監督 宮木朝子

アートディレクション：小阪淳 空間音響設計、システムプランニング：鈴木悦久  
ヴァーチャルサラウンド技術アドバイザー：漢那拓也

会場 両国門天ホール（墨田区両国 1-3-9 ムラサワビル1-1F）

2022年8月9日（火）～8月19日（金）

ライブ&アーカイブ配信あり

主催：一般社団法人もんでん

後援：日本電子音楽協会（JSEM）、先端芸術音楽創作学会（JSSA）、日本AI音楽学会（JAIMS）

協力：ナヤ・コレクティブ

助成：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益財団法人朝日新聞文化財団

両国門天ホール  
門天  
Ryogoku Monten Hall

